

CST養成プログラム[教育職員免許取得プログラム等大学院生履修用]概要

(2022年度以降入学者用)

年次	月	ガイダンス等	科学的自然理解	教科内容理解	教科専門性深化	社会教育施設理解	授業実践演習	CST支援実習	
1	4	プログラム説明							
	5		<講義>3時間 科学リテラシーと 観察・実験, ESD の視点と理科教 育, 学習指導要領 理解など	<講義・演習>15時 間「理科実験演 習」 基本的観 察・実験技術を習 得。(大学院免許 取得プログラム生 対象「初等理科指 導法」)					
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	1								
	2								
	3	履修状況確認							
	2	4	プログラム確認						
5									
6									
7				物理, 生物, 地学の 領域の学習内容の 理解深化。(学部理 科専門科目「物理 学」「生物学」「地 学」から1つ)					
8					<講義・演習>3時間 「教材開発演習」前半 物理領域を例として 教材を活用した学習 から教材開発の視点 養成	<大学院授業> CST養成プログラ ム履修者必修 (下記のうち3科目) カリキュラム・マネジ メントを育む理科学習デ ザイン論 教科内容構成(理科) の理論と実践A 教科内容構成(理科) の理論と実践B 教科内容構成(理科) の理論と実践C 教科内容構成(理科) の理論と実践D 科学的リテラシーのた めの授業設計論 理科教育課程の理論と 実践 自然環境学習の理論と 実践 理科授業の理論と実践 (野外観察)	<課題研究> 各自が理科に関 わる研究課題を設 定し, 見通しを持っ て研究計画を立 て, 調査実験を行 い, 科学的な考察 により結論を得た ものを, 論文にま とめる。	<実習>18時間 大学院免許プログラ ム生対象「教育実地 研究III」において特 に理科授業指導案 作成と実践検討を継 続的個別指導により 実施	
9									
10							<視察1>半日 国立妙高青少年 自然の家 <視察2>半日 フォッサマグナ ミュージアム <視察3>半日 清里星のふるさと 館		
11				<講義・演習>15時 間 「理科学習内容研 究」 学習内容の理解深 化のための理科教 育の方法論と教材 論。 (学部理科専門科 目「中等理科指導 法(方法論)」または 「中等理科指導法 (教材論)」)					
12									
1									
2					<講義・演習>6時間 「教材開発演習」後半 最新の科学機器・情 報を利用した理科授 業教材の検討				
3		履修状況確認							
3		4	プログラム確認						
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	1								
	2								
	3	修了認定							<実習>6日 研修会準備と実施 補助, 地域素材理 解, 科学研究発表 会・標本展準備, 実施補助など



本プログラムの講習内容は
本学ホームページからも
ご確認いただけます。